

令和 3 年度

学校案内



筑波大学附属桐が丘特別支援学校

生き方を探求する児童生徒の育成を目指して

本年4月より、校舎改築の2期工事を終え、新校舎での学習をスタートさせました。明るく広い校舎で、児童生徒はのびのびと、つながりのある学びを追求しています。昨日とつながり、仲間とつながり、未来へとつながろうとしています。

当校では、「生き方を探求する児童生徒の育成」を目指しています。一人一人の児童生徒が可能性を伸ばし、好きなことを見つけ、一生をかけてやりたいことを探してほしいと願っています。この点は、どんなに障害の重い児童生徒でも変わらないと信じています。

開校以来60年以上、当校は、全国の関係者とともに、よりよい肢体不自由教育を求めて交流を続けてまいりました。今、4階建てのシンボリックな拠点を得て、次の3つの研究的取り組みを力強く推進してまいります。

- 1 遠隔合同授業により全国の仲間と学びを深める
- 2 障害の重い子供の各教科の授業の桐が丘モデルを提案する
- 3 児童生徒主体の自立活動の学習の在り方を発信する

児童生徒の皆さん、桐が丘で様々なことにチャレンジし生き方を探求していきましょう。

教員及び関係者の皆さん、肢体不自由教育の充実に向けて一緒に取り組んでまいりましょう。

校長 下山 直人



教育目標

教育基本法及び学校教育法、学習指導要領の示すところにより、肢体不自由及びその他の障害を併せ有する児童生徒に対して、個々の個性と障害の実態に応じた教育を行い、豊かな人間性をもち、主体的に自立と社会参加を目指し、生涯にわたって自己の生き方を探求していく人間を育成する。

学級編制

本校

小学部 普通学級・特別学級6 1学年の定員6名
 中学部 普通学級3, 特別学級3 1学年の定員9名
 高等部 普通学級3, 特別学級4 1学年の定員11～12名

施設併設学級

小学部 普通学級1, 特別学級4 5学級の定員18名
 中学部 普通学級1, 特別学級2
 高等部 特別学級1 中学部・高等部4学級の定員15名

沿革

昭和27年9月1日

整肢療護園（日本肢体不自由児協会経営、現心身障害児総合医療療育センター内）の要請を受け、東京教育大学附属小学校の講師2名により、同園児の教育を開始

昭和33年4月1日

東京教育大学教育学部附属養護学校として開校

昭和35年4月26日

東京教育大学教育学部附属桐が丘養護学校と改称

昭和53年4月1日

筑波大学附属桐が丘養護学校となる

平成16年4月1日

筑波大学が国立大学法人化される

平成19年4月1日

国立大学法人筑波大学附属桐が丘特別支援学校と改称

時間割

小1

	月	火	水	木	金
登校	8:30～8:40				
HR	8:40～8:45				
1	国語	国語	国語	国語	国語
2	算数	算数	算数	国語	体育
3	生活	国語	体育	図工	算数
4	合同生活	音楽	自立活動	図工	自立活動
給食					
5	／国語	自立活動			生活／合同音楽
6	／国語	道徳			特別活動
学活	15:20～15:30	13:20～13:30	15:20～15:30		
下校	15:30～15:40	13:30～13:40	15:30～15:40		

※「／」は前期／後期 ※小学部は45分授業

中1

	月	火	水	木	金
登校	8:30～8:40				
HR	8:40～8:45				
1	数学	社会	英語	美術	前:技術／後:家庭
2	自立活動	保健体育	理科	英語	前:技術／後:家庭
3	国語	英語	音楽	国語	国語
4	社会	数学	前:国語／後:数学	理科	自立活動
給食					
5	保健体育	総合的な学習の時間	道徳	数学	理科
6	保健体育	学級活動		社会	英語
学活	15:20～15:30	14:20～14:30	15:20～15:30		
下校	15:30～15:40	14:30～14:40	15:30～15:40		

※中学部は50分授業

高1

	月	火	水	木	金
登校	8:30～8:40				
HR	8:40～8:45				
1	国語総合(現代文)	コミュニケーション英語I	数学I	数学A	数学I
2	体育	数学A	社会と情報	英語	音楽I／美術I
3	国語	国語総合(古文)	自立活動	体育	音楽I／美術I
4	数学I	生物基礎	国語総合(古文)	体育	コミュニケーション英語I
給食					
5	世界史A	総合的な学習の時間	生物基礎	世界史A	国語総合(現代文)
6	コミュニケーション英語I	LHR		保健体育	英語表現I
HR	15:20～15:30	14:20～14:30	15:20～15:30		
下校	15:30～15:40	14:30～14:40	15:30～15:40		

※高等部は50分授業

小学部

対話の質を高め、自ら学ぶ力を育てる授業づくり

小学部では「心身ともに調和のとれた人間性を育み、集団の中で自分の役割を果たしていこうとする児童を育てる」という目標を掲げ、一人ひとりの子どもの能力や特性、または発達や障害の状態に応じた教育を進めています。特に各教科等の授業においては、子どもが学習課題と対話すること、友達と対話する活動を大切にし、自分の考えを広く深くしていくとともに、子どもたち自身で学ぶ力をつけていくことを目指します。また、それらを支える自立活動の指導は個別の指導計画に基づき評価・改善を繰り返しながら進めています。



国語 話し合い活動



自立活動



校内キャンプ



桐が丘の学び「合同道徳」

(2学年合同または6学年合同で縦割りの道徳)

月に1回程度、異なる年代や価値観が集まる縦割り集団で多様な考えに触れ、自分がどう生きたいか考えます。合同道徳の児童たちの感想です。

「(小1児童) みんなかんがえがちがうんだなとおもいました。」「(6年生児童) それぞれ感じたことが違うので、気付いたこと・感じたことをみんなで分かち合うことはとてもいいことだと思った。昨年よりも皆で話す時間が増えた。」

中学部

将来像を思い描き、身近な社会に積極的に参加していく

中学部では、「豊かな人間性と生活の基礎となる力を育み、自らの将来像を思い描き、身近な社会に積極的に参加していこうとする生徒を育てる」、を目標として掲げています。

これらの教育目標を達成するために、個に応じた教育を基本とし、学習内容の習熟度に応じて各学年を2グループに分けて指導を行っています。また、将来の進路に向けて漢字検定や数学検定、英語検定等の資格取得にも力を入れています。



他の特別支援学校との遠隔合同授業



ALT との英語の授業

桐が丘の学び 総合的な学習の時間「池袋へ行こう」

これまで学んできた力を、池袋を舞台に公共交通機関を使い、自分たちで目的地やスケジュールを決め、よりよく問題を解決する資質や能力を身に付けます。生徒は自己理解や他者理解を深め、身近な社会とのつながりを実感し、自己の生き方を考える力を深めていきます。



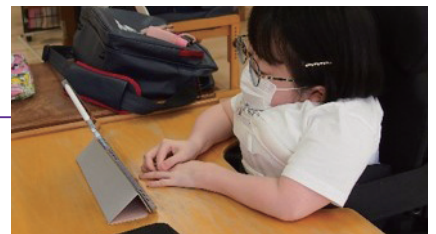
城北公園への校外学習

高等部

主体的に考え、社会の中で生涯にわたって 自己の生き方を探求していく

高等部では、「将来の生活に向けて、豊かな人間性と生活を営む力を育み、主体的に考え、社会の中で生涯にわたって自己の生き方を探求していく生徒を育てる」を目標として掲げています。

これらの教育目標を達成するために、各教科、特別活動、総合的な探求の時間などを通じて自己理解を深め、職場見学・職場体験に参加することでより具体的に将来に向けて自分の生き方を考えていきます。



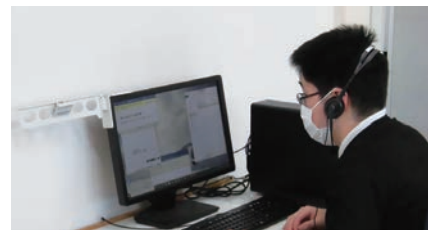
積極的に授業にタブレット端末を活用しています



家庭科の授業



電子教科書を使用した授業



職場体験



桐が丘の学び 総合的な探求の時間 「これから生きる社会と自己の生き方」

中学部で培った力をより多様で広範囲な場面で発揮し、高め、卒業後の社会参加、自己実現を目指していきます。生徒は自分を知り、多様な世の中を学び、自らの歩み方を模索し、自分の生き方を自己選択・自己決定していきます。

卒業時の進路先（3年間）

年度	進路	大 学	専修学校等	就 職	就労移行支援	就労継続支援	厚生施設	その他	合 計
					訓練校等	生活介護			
平成30		6	1	0	0	0	0	1	8
令和元		7	0	0	1	0	0	0	8
令和2		4	0	0	1	0	0	2	7

卒業時の進路先（平成31年3月卒業生～令和3年3月卒業生）



スポーツ部やバンド部が放課後活動しています

卒業生へのインタビュー



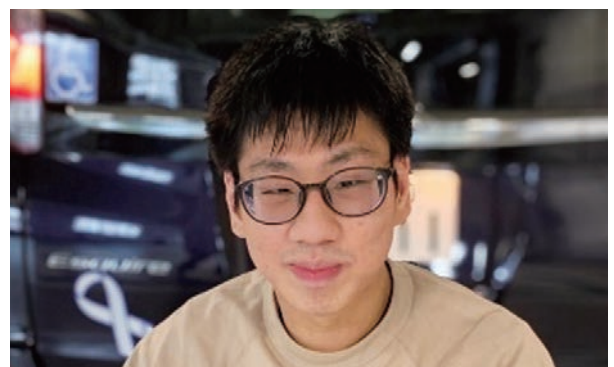
石田智哉さん（平成27年度卒業）
立教大学大学院 現代心理学研究科

大学院で、しょうがい者が芸術活動をするのでの可能性について研究しています。映画を制作した経験をもとに“作品を作ること”が、作り手の身体やしょうがいの捉え方に変化をもたらすのではないかと考えています。

自立活動、これから生きる社会と自己の生き方で学んだ自分と向き合うこと、情報機器を活用した学び方など。桐が丘の日々で得たものは、生活で介助者に自分の考えや思いを伝えることや、研究や創作活動にもつながっています。

現在どのような日々を過ごしているのでしょうか？

桐が丘の学びは今の生活にどんな風につながっていますか？



小林龍之介さん（平成24年度卒業）
練馬松の実会 松の実事業所

現在の僕は、松の実事業所で自主製品作りや受注作業に取り組んでいます。ここでも楽しみながら作業をすることを心がけています。何事にも楽しまないで長続きはしないからです。この事を学ばせてくれたのも桐が丘特別支援学校です。

桐が丘特別支援学校で学んだこと。それは、何事にも楽しんで取り組むということです。文化祭や修学旅行等の行事の際に毎回皆で話し合い、その時は大変でも終わった時の達成感と楽しかった気持ちになれたことは今でも覚えています。

施設併設 学級

社会や世界と関わり、 よりよい人生を送れるような力を育む



授業風景



校舎



中庭

心身障害児総合医療療育センターに併設された施設併設学級には、様々な発達段階の児童生徒が在籍しています。どの児童生徒に対しても、各教科等の指導を通して、理解していることやできることを使い、社会や世界と関わり、よりよい人生を送れるような力を育むことを目指しています。国語で学んだ言葉を使って人とやり取りするおもしろさや、音楽で学んだ音を意識して聴いたり鳴らしたりする楽しさが、子供たちの世界を豊かにし、可能性を広げられるよう、研究と実践に取り組んでいます。



荒川と水門の見学

桐が丘の学び 「中学部社会見学」

社会科で町の中には川や橋があることを学び、実際に大きな川（荒川）や橋を見学しました。荒川治水資料館の方から、洪水対策として堤防や水門がつくられたことも学びました。具体的な体験を通して生きた知識を得たり、自分の生活に結び付けて考えたりすることを大切にしています。



釜炊きご飯でおむすびづくり

桐が丘の学び 「小・中・高合同修学旅行」

薪が燃える音やにおい、火の色や温度、ご飯の炊ける音や香り、炊きたてのご飯の感触、味などをじっくり体験しました。コロナ禍のため、小・中・高合同で日帰りの修学旅行となりましたが、自然の中で、いつもと違う体験を積む機会をもつことができました。

当校の実践



研究協議会



イングリッシュルーム（放課後）



台湾の高校生との国際交流

桐が丘特別支援学校は、我が国の教育をリードするための研究と実践を内外に積極的に発信しています。大学の研究への協力及び教育実習・介護等体験実習の受け入れも行っています。また、肢体不自由児教育の実践を活かして、現職教員に開かれた授業参観や研修会の開催、短期及び長期研修の受け入れ、各附属学校を会場とした「教員免許状更新講習」の実施などを担っています。さらに当校では附属学校の国際化を組織的に推進することを目指し、放課後・夏期イングリッシュルームや姉妹校との交流を毎年行っています。小・中学部は韓国の三育再活学校との交流、高等部は台湾の国立南投特殊教育学校・国立和美実験学校との交流を行っています。

学校行事



運動会



学習発表会



桐が丘祭



小5・6年日光移動教室（2泊3日）



中学部神奈川宿泊学習（2泊3日）



高3沖繩修学旅行（3泊4日）

令和3年度 公開行事・入学選考日程

運動会 10月2日（土）
 学習発表会・桐が丘祭 11月3日（水）
 ※状況により中止・オンライン開催になる場合があります。
 学校見学日
 5月11日、6月8日、7月13日、9月7日、10月12日
 （いずれも火曜日）
 （学校紹介映像公開・オンライン相談会を実施しています。
 詳しくはHPをご覧ください。）
 体験授業・授業見学
 未定（HPをご覧ください）
 入試説明会 8月21日
 令和4年度入学選考
 出願書類配布 令和3年10月18日（月）～11月3日（水）
 出願書類受付 令和3年11月17日（水）～11月19日（金）
 入学選考日 令和3年12月22日（水）・23日（木）
 合格発表 令和3年12月28日（火）～令和4年1月6日（木）

筑波大学附属桐が丘特別支援学校

本 校

〒173-0037 東京都板橋区小茂根2丁目1番12号
 電話 (03)3958-0181・0184

施設併設学級

〒173-0037 東京都板橋区小茂根1丁目1番10号
 電話 (03)3956-0181・6149

<https://www.kiri-s.tsukuba.ac.jp/>



施設紹介



新校舎



床暖房つき自立活動室



中庭



体育館



スロープ



スクールバス



エレベーター

学校給食について

本校の小学部から高等部の児童生徒に給食を提供しています。（※施設併設学級は整肢療護園に戻って昼食をとります。）校内で調理し、季節ごとに旬を感じられる献立・日本や世界の郷土料理献立・リクエスト献立などもあります。食事の形態は普通食です。食物アレルギー等の個別の対応については、家庭・医療と連携して行います。給食時間をはじめ様々な場面で「食に関する指導」を行い、食に関わる資質・能力の育成を目指していきます。



当校までの順路



- ◎東京メトロ有楽町線、副都心線「小竹向原駅」（3番出口）下車、本校（通学部）徒歩13分、施設併設学級（入院部）徒歩6分。
- ◎JR赤羽駅東口より国際興業バス・関東バス高円寺北口行「上の根橋」（本校）又は「小茂根」（施設併設学級）下車、所要時間約30分。また、逆方向もある（所要時間約40分）。徒歩5分